

同窓会館の建設をはじめました  
重ねて全員の募金をお願いします

同窓会長 和田文雄

待望久しかった私たちの同窓会館が来春三月に完成することとなりました。今日(十二月十四日)から用地の地ならしを始めました。建坪六二・六二坪。寄棟平家造りといいたしました。内部は誰でも話し合うこと集ることのできる談話室(洋間)と日本間の広間(十五畳)と茶室兼用の八畳間です。そして洋間は二ベット一室です。設計は舟橋一級建築士事務所、建築は腕並建設株式会社といたしました。

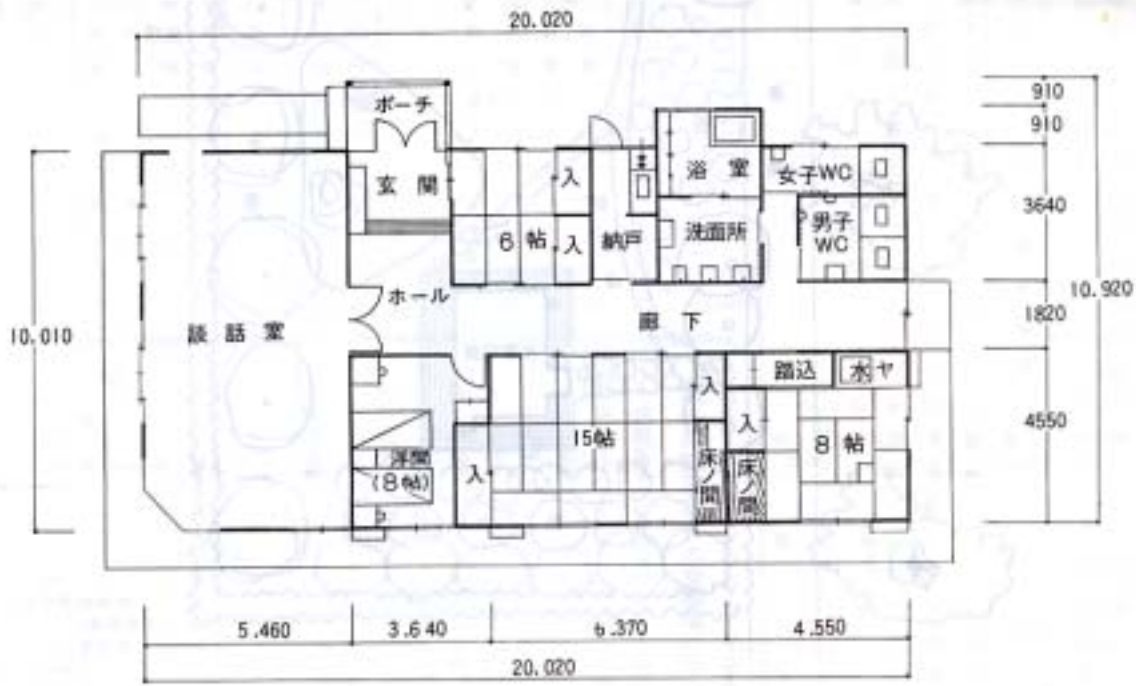
会館の場所も最初は職員寮跡を予定しましたが、来賓宿舎の両隣り元の備品倉庫跡といたしました。この来賓宿舎を含めて庭園を造り来賓宿舎の永久記念保存と併せて同窓生の会合の場所となり、学園の教育施設としても役立つこととなります。

会館はグラウンド、図書館、将来の本館に正面を向け南むきとなります。八畳の茶室では朝日や月の出がきれいに見られることでしょう。また談話室は南及び西側が総ガラスとしましたから、明るい部屋となり部屋北面には暖炉をつけますので、「雙湖炉辺談話」も生れることと思います。

ここまでお伝えして、さて現実にもどら

**同窓会会報**  
第25号

昭和52年12月15日  
発行所  
茨城県東茨城郡  
内原町雙湖5965  
雙湖学園同窓会  
印刷所  
布双葉社印刷所



床面積 202㎡ (61坪) 平面図 S = 1/200

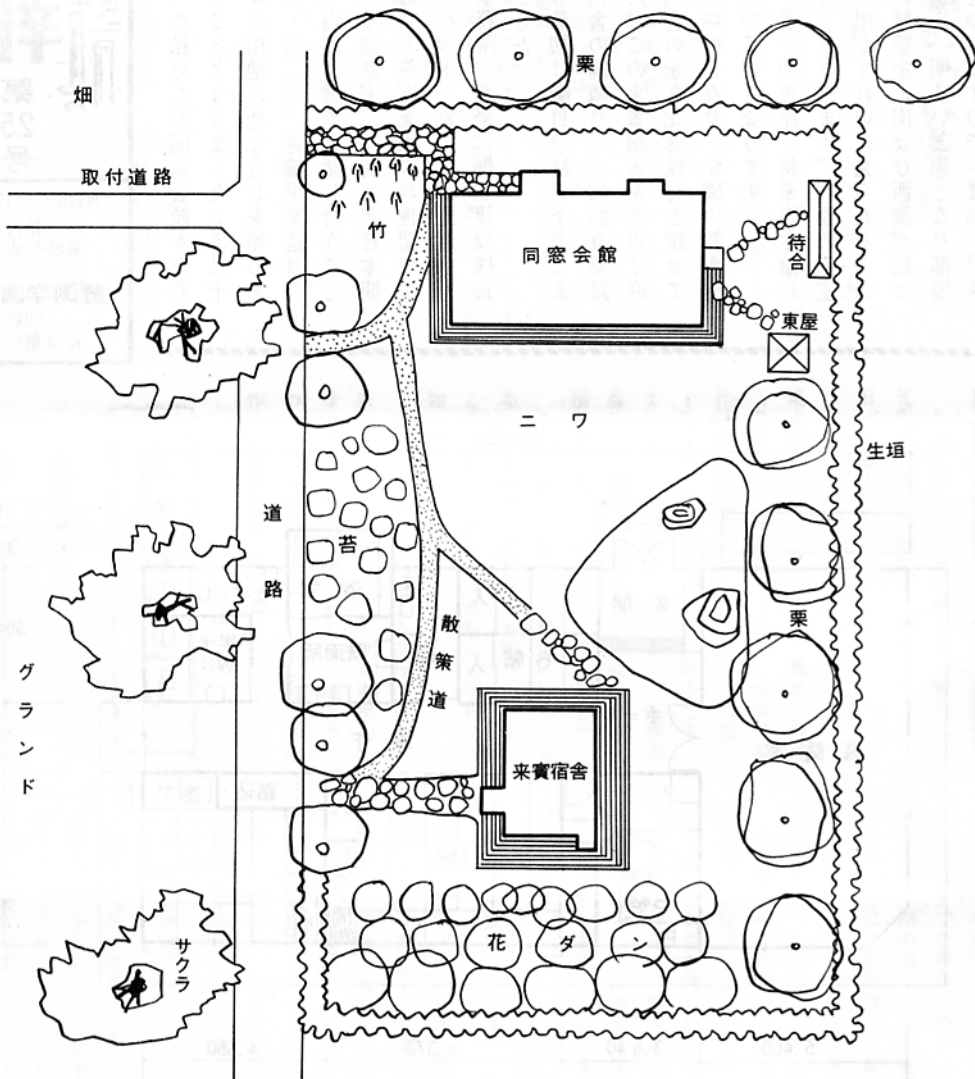
なくてはなりません。それは会員一人一万円計三千万円を募金目標としましたが、現在一千三百万円余の応募で目標額にほど遠い額であります。

ですから五百万円余りの赤字で見切り発注をせざる得ないこととなりました。また内部設備についても冷暖房は保留しています。備品什器についても目下発注は留保せざる得ない状態です。

しかし、これから完成に向って必ず全会員が一人一万円の募金に協力して下さることを確信して実行に移しました。このように実行に入ったことをご報告するとともに重ねて、まだご送金戴いていない各位にはご協力をお願いする次第です。

各支部の世話役の方々にも大変ご苦勞をお願いしてきましたがもう一度支部の募金状況をご検討して戴き、支部割当額の達成に何とぞご奮闘をお願いするものです。

四月十五日には延期した同窓会大会を開催いたします。十五日は入学式です。そして鯉淵は桜の満開の時期でもあります。その桜の下で完成を祝い合うことを期してお願いする次第であります。



配置図

S = 1/500

## 昭和五十三年度

### 学生募集 協力依頼について

教務課長 西村典夫

運営、日頃ご無音に過ぎておりますが、同窓生の皆様には益々ご健勝のこと・存じます。

お陰様で私ども一同、元氣いっぱい学園教育に精励致しております。

さて、何時もながらご支援、ご協力をいただいております「学生募集」、近年は出願者も増加し、入学者数も定員確保が出来るようになって、往時に比べ、大へん活気のある学園生活になって来ましたが、これというのも、終始変らぬ、皆様方のお力添えあつてのことと、厚くお礼申し上げます。

五十三年度の学生募集も、先般来、同窓会各県支部長、全国の高等学校、農業団体、その他に募集要項をお送りして

協力をお願いし、また、幾つかの受験雑誌や新聞等にも募集記事を掲載したり、NHKテレビ等にもPRを依頼するなど、出来るだけのことを致しております。しかし募集経費も少額ですし、手の届かぬ所も少なくないこと、心配しております。

同窓の皆様には、例年、別紙「学生募集要項」を同窓会々様に同封させて頂いたとき、特にご協力をお願いしておりますが、本年も、学習意欲に燃えた、健康で優秀な後輩を一人でも多く、ご紹介、ご推薦下さるようお願い申し上げます。最後にになりましたが、寒気に向う折柄、一そつのご自愛をお祈り申し上げます。

(52・11・20) 敬具

## 最近の学生数

( ) 内は女子・10月31日現在

| 本科 | 1年生     | 2年生     | 3年生     |
|----|---------|---------|---------|
| 園芸 | 51(2)   | 53(2)   | 51(1)   |
| 畜産 | 41(1)   | 40(3)   | 25(2)   |
| 生活 | 36(36)  | 30(30)  | 35(35)  |
| 合計 | 133(39) | 123(35) | 111(38) |
| 選科 | 6(2)    |         |         |

総数 三六八(一一四)名

## 藤岡孟彦先生 ご逝去

かねてから、ご病氣療養中の藤岡孟彦先生は、薬石の効なく、去る八月二十三日、ご逝去になりました。

先生は、明治二十五年にお生れになり、東大農学部を卒業、兵庫県農業試験場勤務を経て、昭和二十三年、狸岡学園作物保護担当教授としてご赴任、昭和三十三年までの十年間、教育に専念なさいました。ご退職後は、わか夫人、長男光彦氏のご家族と、神奈川県川崎市多摩区宿河原一九五にお住いでございました。

ここに謹んで先生のご訓育に対して感謝の念を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、おくればせながら皆様にお知らせいたします。

なお、同窓生有志による追悼の会を、来年八月二十七日(日)、東京巣鴨の妙行寺で催したいと存じます。ご出席予定の方は、来年七月末日までに、狸岡学園作物保護研究室、西村宛にご一報下さい。

## 事務局だより

### 一、同期生会開催について

去る十一月五日、東京において十二期生会、十一月十九日、水戸において十一期生会、同日学園において三十一期生会が開られました。紙面の都合で当日の様子を詳しくのせられませんが、何れも盛況で、十一期・十二期の集りは卒業後二十年を記念して、各自の報告する卒業から今日までの歩みに拍手の連続でした。一方三十一期の会は、学園を築き上げて間もなく、中には社会情勢を反映して、いまだ安定した職につけず、苦悩を訴える卒業生もおりました。

事務局からの募金への協力要請に対し同窓会館を建設しよう、の多くの声と募金をいただき意を強くしました。

最後に十一期・十二期生とも五年後、三十一期生については来年、学園において再会することを決めておりましたことを付記します。

### 二、住所変更について

五十一年十一月に会員名簿を発行いたしました。各方面から不備の指摘も多く、事務局として深く反省しております。同窓会館建設の業務が一段落した段階で訂正一覧表を作成したいと考えておりますのでお気付の点、住所変更等ありましたら同窓会事務局宛にご一報下さい。

### 三、会費納入について

同窓会大会が延期になっておりますが、会期として十月一日より新年度に入っておりますのでお手数でも昭和五十三・五十四年度会費二千円を納入下さい。